



# 医療・介護多職種連携へ

## 訪問歯科診療で研修会

高齢者の地域での暮らしを支える地域包括ケアシステムの推進に向け、湖西市内の医療・介護の多職種有志でつくる「あんきに暮らすを支える会」が研修会や交流会に取り組んでいる。8月28日には5回目となる研修会をオンラインで開催、訪問歯科診療に取り組む歯科医師が活動の意義を解説した。

### 湖西で有志が実施

訪問歯科診療の役割についてオンラインで解説する太田院長＝湖西市新居町の太田歯科

講師を務めたのは太田歯科（同市新居町）の太田幸典院長。太田院長は、在宅で暮らす高齢者の口腔（こうくう）ケアの課題として、自立生活ができる高齢者でも、手指の力が弱まるなどして十分に歯磨きができて

いないケースが多いことを指摘した。歯石が蓄積して口腔内の細菌が増えると誤嚥（ごえん）性肺炎のリスクが高まるとして、定期的な歯科医師や歯科衛生士によるケアの重要性を強調。訪問歯科診療を受ける際の手続きや費用、診療の様子も紹介し、「歯科医師へ気軽に声をかけてほしい」と

呼びかけた。研修会は業務を通じた接点が少ない職種同士が互いの活動や課題意識を共有して連携につなげようと始まった。県医師会の情報システム「シズケア・かけはし」を活用して3カ月に1回ほど実施し、対面の交流会も開いている。

（湖西支局・杉崎素子）